
オチケン！！

白井比奈男

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オチケン！！

【Nコード】

N82300

【作者名】

白井比奈男

【あらすじ】

都立春野高校の一年湖山誠は部長の脅迫によって 廃部寸前の落語研究部に入部させられる。落語に興味がない誠だが仲間と共にやっていくうちに惹かれていく。誠や仲間達との青春落語ストーリー。是非ご覧下さい。

入部という名の脅迫（前書き）

前回まであらずじ

謎のストーカー疑惑をか

けられた誠と谷本。謎の女子生徒に捕まり殴る蹴るの暴行を受けることに。そこに誠と同じクラスの桧山千代が現れ、誠達は助けられる。難を逃れた誠だが、次の日谷本を人質にし、謎の女子生徒が誠のクラスに殴り込んできたのである。一体誠達はこれからどうなる？

入部という名の脅迫

僕と谷本、千代そして部長は昨日と同じ特三に来了。まだ谷本は部長に捕まったままである。

「それで何を協力してほしいんですか？」

僕が部長に切り出した。すると部長はまたどっかの闇金業者のような顔をして笑った。

「私達の部活に入部してほしいの。そしたらこの子は解放してあげる。」

「私達の部活って一体何部なんですか？」

僕が素朴な質問をすると部長は誇らしげに言った。

「オチケンよ！」

オチケン…何だそれ？たしか二年生にイケメンの落合謙一先輩がいるが、まさかそのファンクラブ？いやでも、部活だしな…てか僕男だしな…

「ちよつと

何ブツブツ言ってるのよ？オチケンって落語研究部のこと！」

落語？そんな部活あったかな？

「落語研究部は今年の新入生歓迎会で出てないから、皆知らないんだよね。」

千代が僕の疑問に気付いたみたいでそう言ってくれた。でも何故新入生歓迎会に出れなかったのであろつか？まあいいや。

「それで落語研究部は一体何をするんですか？」

基本的に毎月一回寄席を行い、10月の文化祭で春高落語会をやる。そのために毎日稽古する。それが主な活動。」

寄席とか春高落語会とかよく分からない言葉が多いが…

「じゃあつまり自分達で落語

をやるってことですよね？」

「まあそうゆう

ことね。もちろんやるよね。」

残念ながら僕は大量の人の前で話すのは大の苦手なのである。気付くと早口になっていたり、よく噛んだり。よく噛んだり。そのせいでいつも学校の発表の評価は1だった。

「もし仮にここで断つたらどうなりますか？」僕は恐る恐る部長に聞いてみた。

「そうね、まず谷本君と君を気が済むまでボコボコにして、それからストーリーカーの件を全校生徒にばらすかな……」

といけないうってことだよな。

「分かりました。僕入部します。」

「ホント！？ありがとう！これで男子部員二人確保ね。」

結局僕は部長に屈服し、オチケンに入部することになってしまった。あれでも男子部員二人って、まさか……

「あつ、

もちろん谷本君も入部してくれるよね？」

捕まった状態でそんなこと聞かれたら、うんと言っしかない。結局谷本も入部することになった。

その後教室に戻った僕と千代、そして谷本は何事もなかったかのように過ごしたのであった。授業も終わり、千代が僕の机に来た。

「災難だったね。なんか無理矢理入らせちゃたみたいで……私に何か言えば良かったのかな？」

「別に桧山さんのせいではありません。僕と谷本があそこで変なことしてたからですよ。」

「あそこであんなことしなければ……やっぱり谷本と付き合つと変なこ

とに巻き込まれる！

「それでさあー湖山君…今日部活あるけどいくの？」

「来ないと部長さんに殴られそうだし行こうと思ひます。」

「ホント？じゃあ私掃

除あるから先に特三に行ってくれる？」

「分かりました。先に行ってます。」

千代と別れ、僕は

谷本を誘い特三に向かった。谷本は顔面蒼白だったがひとりだと怖いので無理矢理連れて来た。

「なあまこっちゃん、部活って一体何をす

るの？」

「わかんない。まあ行ってみ

るしかないよ。」

「俺ヤダよ！落語なんて興味ないもん！」

「じゃあばらされてもいいのかよ？そしたらこれから先の学校生活終わりも当然だよ！とにかく行くしかないだよ。」

そうこうしてる

うちに特三に着いていた。僕と谷本は深呼吸をし、ドアを開けた。そこに広がっていたのは「1年生歓迎会」と黒板に書かれた風景だった。

入部という名の脅迫（後書き）

登場人物プロフィール

No.2 桧山千代

好きな食べ物

みかん

趣味

寄席に行く

こと

好きな落語

化け物使い

少しおっちょこちょ

いだが、とても優しい女の子。背が小さいのが悩みらしい。幼い時からおばあちゃんの影響で落語が好きになり、今に至る。皆からは千代と呼ばれる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8230o/>

オチケン！！

2011年5月17日06時54分発行